

4 教科及び教職に関する本学開設科目

被服学科

a 高等学校教諭 1 種免許状「家庭」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数	
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1	家庭経営学概論(含家庭経済学)2] 家族関係論2]	4
	被服学(被服製作実習を含む。)	1	被服材料学 被服材料学実験 繊維科学 繊維科学実験(2) 被服管理学2] 界面科学(2) アパレル概論 アパレル製作 和服製作 立体裁断(2) 繊維加工学(2) 機能性被服材料(2) 染色学(2) 色彩学 日本服飾文化史 西洋服飾文化史 服飾工芸(2)	20
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1	栄養学概論2] 食品学概論2] 調理学実習2] 食物学概論(2)	6
	住居学(製図を含む。)	1	住居学概論2] 製図及び家庭工作学2]	4
	保育学(実習及び家庭看護を含む。)	1	保育学(含実習及び家庭看護)2]	2
	家庭電気・家庭機械・情報処理	1	家庭機械及び家庭電気2] 生活情報処理2]	4
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	4	家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2]	8
	計	24		48
	教科及び教職に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理2]
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門2]		2
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営)2]		2
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学2] 青年心理学(2)		2
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説1]		1
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論2]		2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説1]	1
	特別活動の指導法		特別活動要説2]	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術2]	2
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論2]	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談2]	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習 (2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6
	学校体験活動		-	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)2]	2
	大学が独自に設定する科目	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-
	合計	59		76

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭 1 種免許状「家庭」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数	
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1	家庭経営学概論(含家庭経済学Ⅱ) 2 家族関係論 2	4
	被服学(被服製作実習を含む。)	1	被服材料学 被服材料学実験 繊維科学 繊維科学実験(2) 被服管理学 2 界面科学(2) アパレル概論 アパレル製作 和服製作 立体裁断(2) 繊維加工学(2) 機能性被服材料(2) 染色学(2) 色彩学 日本服飾文化史 西洋服飾文化史 服飾工芸(2)	20
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1	栄養学概論 2 食品学概論 2 調理学実習 2	6
	住居学	1	住居学概論 2	2
	保育学(実習を含む。)	1	保育学(含実習及び家庭看護Ⅱ) 2	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	8	家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2]	8
計	28		42	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 2	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 2	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営Ⅱ) 2	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 2 青年心理学(2)	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育要説 2	2
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間要説 1	1
	特別活動の指導法		特別活動要説 2	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 2	2
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談 2	2
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習 [2] 教育実習(2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	8
	学校体験活動		-	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高Ⅱ) 2	2
大学が独自に設定する科目		4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-
合計		59		74

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

c 教科及び教科の指導法に関する科目「家庭」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
食 品 学 概 論	2	半 期	講義	2	2	
栄 養 学 概 論	2	半 期	講義	2 または 3	2	
保育学（含実習及び家庭看護）	2	半 期	講義	3	2	
調 理 学 実 習	2	通 年	講義・実習	3	4	
家庭機械及び家庭電気	2	半 期	講義	1～3	2	
製 図 及 び 家 庭 工 作 学	2	半 期	講義	3	2	
生 活 情 報 処 理	2	半 期	講義	3	2	
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 被服学科の「専門教育科目」の家政学部共通科目として2単位を卒業に必要な単位に含めることができます。（家庭科教育法を除く）

d 教育の基礎的理解に関する科目等「家庭」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導Ⅰ」「教育実習指導Ⅱ」は教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

食物学科 食物学専攻

a 高等学校教諭1種免許状「家庭」

(2019年度入学生から適用)

全課程	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数			
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1	家庭経営学概論(含家庭経済学Ⅱ2] 家族関係論2]	4	
		被服学(被服製作実習を含む。)	1	衣生活概論2] 被服材料学(2) 被服工作(和洋Ⅱ2]	4	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1	生化学 栄養化学 食品化学 食品化学実験 食品学 食品学実験 食安全学 食安全学実験 栄養教育論 栄養教育論 基礎調理学実習 調理科学 調理科学(2) 調理科学実験Ⅰ] 食事設計論 食文化論(2) 食安全学(2)	23	
		住居学(製図を含む。)	1	住居学概論2] 製図及び家庭工作学2]	4	
		保育学(実習及び家庭看護を含む。)	1	保育学(含実習及び家庭看護Ⅱ2]	2	
		家庭電気・家庭機械・情報処理	1	家庭機械及び家庭電気2] 生活情報処理2]	4	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	4	家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2]	8		
	計	24		49		
	教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理2]	2
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門2]	2
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営Ⅱ2]	2
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学2] 青年心理学(2)	2
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説1]	1
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論2]	2
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説1]	1
			特別活動の指導法		特別活動要説2]	2
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術2]	2
			生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論2]	2
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談2]	2
	教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習(2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6
			学校体験活動		-	
			教職実践演習	2	教職実践演習(中・高Ⅱ2]	2
	大学が独自に設定する科目	12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-		
合計		59		77		

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭 1種免許状「家庭」

(2019年度入学生から適用)

全課程	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数			
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1	家庭経営学概論(含家庭経済学)2] 家族関係論2]	4	
		被服学(被服製作実習を含む。)	1	衣生活概論2] 被服材料学(2) 被服工作(和洋)2]	4	
		食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1	生化学 栄養化学 食品化学 食品化学実験 食品学 食品学実験 食安全学 食安全学実験 栄養教育論 栄養教育論 基礎調理学実習 調理科学 調理科学(2) 調理科学実験1] 食事設計論 食文化論(2) 食安全学(2)	23	
		住居学	1	住居学概論2]	2	
		保育学(実習を含む。)	1	保育学(含実習及び家庭看護)2]	2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	8	家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2] 家庭科教育法 [2]	8	
		計	28		43	
	教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理2]	2
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門2]	2
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営)2]	2
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学2] 青年心理学(2)	2
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説1]	1
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論2]	2
	教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育要説2]	2
			総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間要説1]	1
			特別活動の指導法		特別活動要説2]	2
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術2]	2
			生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論2]	2
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2
			教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談2]	2
	教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習 [2] 教育実習 [2] 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	8
			学校体験活動		-	
教職実践演習			2	教職実践演習(中・高)2]	2	
	大学が独自に設定する科目	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-		
	合計	59		75		

注 本学開設科目(単位)欄のうち、の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

c 栄養教諭 2 種免許状

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
栄養に係る教育及び教職に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学校栄養教諭論【2】	2	
		幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
		食生活に関する歴史的及び文化的事項			
		食に関する指導の方法に関する事項			
		計	2		2
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理【2】	2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門【2】	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育制度要説(含学校経営)【2】	2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学【2】 青年心理学【2】	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育要説【1】	1	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論【2】	2	
	道徳、総合的な学習の時間等の教育相談等に関する科目	道徳・総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	道徳教育要説【2】 総合的な学習の時間要説【1】 特別活動要説【2】	5	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育の方法と技術【2】	2	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導論【2】	2	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談【2】	2	
	教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(含事前事後指導)【2】	2
		教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)【2】	2
	大学が独自に設定する科目				-
	合計		14		28

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

d 教科及び教科の指導法に関する科目「家庭」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
保育学（含実習及び家庭看護）	2	半 期	講義	2	2	
衣 生 活 概 論	2	半 期	講義	2	2	
被 服 材 料 学	2	半 期	講義	2または3	2	選択
被服工作（和）（洋）	2	通 年	実習	2	4	
製 図 及 び 家 庭 工 作 学	2	半 期	講義	3	2	
家庭機械及び家庭電気	2	半 期	講義	3	2	
生 活 情 報 処 理	2	半 期	講義	3	2	
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	「家庭」のみ
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	「家庭」のみ
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	「家庭」のみ
家 庭 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	「家庭」のみ

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 食物学科の「専門教育科目」の家政学部共通科目として2単位を卒業に必要な単位に含めることができます。（家庭科教育法を除く）

e 教育の基礎的理解に関する科目等「家庭」「栄養教諭」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	「家庭」のみ
生 徒 指 導 論	2	半 期	講義	3または4	2	「栄養教諭」のみ
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		「家庭」のみ
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		「家庭」のみ
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	「家庭」のみ
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	「家庭」のみ
栄養教育実習（含事前事後指導）	2	1 週間	実習	4		「栄養教諭」のみ
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	半 期	演習	4	2	「家庭」のみ
教 職 実 践 演 習（栄養教諭）	2	半 期	演習	4	2	「栄養教諭」のみ

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」、「教育実習指導」は、教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」、「教職実践演習（栄養教諭）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

食物学科 管理栄養士専攻

a 栄養教諭1種免許状

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
栄養に係る教育及び教職に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教諭論 [2] 学校栄養教諭論 [2]	4
		幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項			
		食生活に関する歴史的及び文化的事項			
		食に関する指導の方法に関する事項			
		計			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理 [2]	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 [2]	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営) [2]	2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 [2] 青年心理学 [2]	2
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 [1]	1
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 [2]	2
	道徳、総合的な学習の時間等の教育相談等に関する科目	道徳・総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育要説 [2] 特別活動要説 [2] 総合的な学習の時間要説 [1]	5
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 [2]	2
		生徒指導の理論及び方法		生徒指導論 [2]	2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談 [2]	2
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(含事前事後指導) [2]	2	
	教職実践演習	2	教育実践演習(栄養教諭) [2]	2	
大学が独自に設定する科目				-	
合計		22		30	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 教育の基礎的理解に関する科目等「栄養教諭」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
栄養教育実習（含事前事後指導）	2	1 週間	実習	4		
教職実践演習（栄養教諭）	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教職実践演習（栄養教諭）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

日本文学科

a 高等学校教諭 1種免許状「国語」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数	
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1	日本語学概説 日本語学講義 2]	4
	国文学(国文学史を含む。)	1	日本古典文学入門 上代文学概説 中古文学概説 中世文学概説 近世文学概説 近代文学概説 現代文学概説 変体仮名読解 上代文学講義 2] 中古文学講義 2] 中世文学講義 2] 近世文学講義 2] 近代文学講義 2] 現代文学講義 2]	28
	漢文学	1	漢文学入門 漢文学概説 漢文学講義 2]	6
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2]	8
計		24		46
教科及び教職に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 2]	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 2]	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営 I) 2]	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 2] 青年心理学 2]	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1]	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2]	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説 1]	1
	特別活動の指導法		特別活動要説 2]	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 2]	2
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2]	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談 2]	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習 (2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6
	学校体験活動			-
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) 2]	2
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-
合計		59		74

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭 1 種免許状「国語」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数			
科目		単位数	本学開設科目(単位)		最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1	日本語学概説 日本語学講義 2]	4	
		国文学 国文学史を含む。)	1	日本古典文学入門 上代文学概説 中古文学概説 中世文学概説 近世文学概説 近代文学概説 現代文学概説 変体仮名読解 上代文学講義 2] 中古文学講義 2] 中世文学講義 2] 近世文学講義 2] 近代文学講義 2] 現代文学講義 2]	28	
		漢文学	1	漢文学入門 漢文学概説 漢文学講義 2]	6	
		書道(書写を中心とする。)	1	書法総合演習 [2] 書法総合演習 [2]	4	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		8	国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2] 国語科教育法 [2]	8	
	計		28		50	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育原理 2]	2
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門 2]	2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育制度要説(含学校経営) 2]	2
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学 2] 青年心理学 2)	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育要説 1]	1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論 2]	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		10	道徳教育要説 2]	2	
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間要説 1]	1	
	特別活動の指導法			特別活動要説 2]	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育の方法と技術 2]	2	
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論 2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			教育相談 2]	2	
教育実践に関する科目	教育実習		5	教育実習 [2] 教育実習 [2] 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	8	
	学校体験活動				-	
	教職実践演習		2	教職実践演習(中・高) 2]	2	
大学が独自に設定する科目		4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得		-	
合計		59		82		

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

c 教科及び教科の指導法に関する科目「国語」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
書 法 総 合 演 習	2	半 期	演習	2	2	
書 法 総 合 演 習	2	半 期	演習	2	2	
国 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
国 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
国 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
国 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「書法総合演習」、「書法総合演習」は、日本文学科の「専門教育科目」の選択科目として、卒業に必要な単位に含めることができます。

d 教育の基礎的理解に関する科目等「国語」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」、「教育実習指導」は教育実習に係る事前および事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

英語英文学科

a 高等学校教諭 1種免許状「英語」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語発音入門 英文法(基礎)1 英文法(基礎)2 英文法(発展)1 英文法(発展)2 英語学入門1 英語学入門2 英語音声学演習(2) 英語学(音声・音韻)(2) 英語学(語彙・形態)(2) 英語学(語法・文法)(2) 英語学(意味・語用)(2) 英語学(特論)(2)	14	
		英語文学	英文学入門1 英文学入門2 米文学入門1 米文学入門2 英文学(近代)(2) 英文学(現代)(2) 英文学(特論)(2) 米文学(近代)(2) 米文学(現代)(2) 米文学(特論)(2)	8	
		英語コミュニケーション	英文講読(基礎)1 英文講読(基礎)2 英文講読(発展)1 英文講読(発展)2 Academic English 1A(2) Academic English 1B(2) Speaking(Basic)(A)(2) Speaking(Basic)(B)(2) Extensive Reading(Basic)(2) ISEC(2) Academic English 2A(2) Academic English 2B(2) Speaking(Intermediate)(A)(2) Speaking(Intermediate)(B)(2) Special Topics through English(2) Speaking(Advanced)(2) 上級英語(A)(2) 上級英語(B)(2)	8	
		異文化理解	イギリス入門 アメリカ入門 海外ボランティア(2) 異文化間コミュニケーション1[2] 異文化間コミュニケーション2[2] 英米文化(言語)(2) 英米文化(社会)(2) 英米文化(映像・身体表現)(2) 英米文化(特論)(2)	8	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2]	8
計		24		46	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理 2]	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門[2]	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営)2]	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	10	教育心理学 2] 青年心理学(2)	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1]	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2]	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間要説 1]	1	
	特別活動の指導法		特別活動要説 2]	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	教育の方法と技術[2]	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談 2]	2	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習(2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6	
	学校体験活動			-	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)2]	2	
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計		59		74	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭 1 種免許状「英語」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
教科及び教職に関する科目	科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数
	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	1	英語発音入門 英文法(基礎)1 英文法(基礎)2 英文法(発展)1 英文法(発展)2 英語学入門1 英語学入門2 英語音声学演習(2) 英語学(音声・音韻)(2) 英語学(語彙・形態)(2) 英語学(語法・文法)(2) 英語学(意味・語用)(2) 英語学(特論)(2)
英語文学			1	英文学入門1 英文学入門2 米文学入門1 米文学入門2 英文学(近代)(2) 英文学(現代)(2) 英文学(特論)(2) 米文学(近代)(2) 米文学(現代)(2) 米文学(特論)(2)	8
英語コミュニケーション			1	英文講読(基礎)1 英文講読(基礎)2 英文講読(発展)1 英文講読(発展)2 Academic English 1A(2) Academic English 1B(2) Speaking Basic A(2) Speaking Basic B(2) Extensive Reading Basic (2) ISEC(2) Academic English 2A(2) Academic English 2B(2) Speaking Intermediate A(2) Speaking Intermediate B(2) Special Topics through English(2) Speaking Advanced (2) 上級英語 A(2) 上級英語 B(2)	8
異文化理解			1	イギリス入門 アメリカ入門 海外ボランティア(2) 異文化間コミュニケーション1[2] 異文化間コミュニケーション2[2] 英米文化(言語)(2) 英米文化(社会)(2) 英米文化(映像・身体表現)(2) 英米文化(特論)(2)	8
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		8	英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2] 英語科教育法 [2]	8	
計		28		46	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		10	教育原理 [2]	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門 [2]	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育制度要説(含学校経営) [2]	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学 [2] 青年心理学 [2]	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育要説 [1]	1
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論 [2]	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法		10	道徳教育要説 [2]	2
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間要説 [1]	1
	特別活動の指導法			特別活動要説 [2]	2
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育の方法と技術 [2]	2
	生徒指導の理論及び方法			生徒・進路指導論 [2]	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談 [2]	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
教育実践に関する科目	教育実習		5	教育実習 [2] 教育実習 (2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	8
	学校体験活動				-
	教職実践演習		2	教職実践演習(中・高) [2]	2
大学が独自に設定する科目		4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-	
合計		59		78	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

c 教科及び教科の指導法に関する科目「英語」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
英 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
英 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
英 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
英 語 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

d 教育の基礎的理解に関する科目等「英語」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」「教育実習指導」は教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

児童学科 児童教育専攻

a 小学校教諭 1種免許状

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語科教育	2	
		社会	社会科教育	2	
		算数	算数科教育	2	
		理科	理科教育	2	
		生活	生活科教育	2	
		音楽	音楽科教育	2	
		図画工作	図工科教育	2	
		家庭	家庭科教育	2	
		体育	体育科教育	2	
		外国語	小学校外国語教育	2	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			国語科指導法 2] 社会科指導法 2] 算数科指導法 2] 理科指導法 2] 生活科指導法 2] 音楽科指導法 2] 図工科指導法 2] 家庭科指導法 2] 体育科教育 2] 小学校外国語指導法 2]	20
	計		30		40
	教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 B	2
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教師論	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育経営論 B	2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育 B	2	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論 B	2	
教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	2	
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の学びと指導法	2	
		特別活動の指導法	特別活動論	2	
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	
		生徒指導の理論及び方法	学級経営と集団づくり(2) 生徒・進路指導の理論及び方法	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小学校Ⅹ4) 特別教育実習(小学校Ⅹ4) 小学校実習特講 1]	5	
		学校体験活動		-	
		教職実践演習	教職実践演習(小学校)	2	
	大学が独自に設定する科目	2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位数を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得 小学校総合演習 (2) 小学校総合演習 (2)	-	
合計		59		71	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

注 「小学校実習特講」は、教育実習に係る事前及び事後の指導とし、4年次の実習の前後に行います。

注 「教育実習(小学校)」、「特別教育実習(小学校)」は選択必修科目であり、いずれか1科目を履修します。「特別教育実習(小学校)」は、東京都教育委員会等が主催する教師養成に関する特別実習コースに参加する者だけが履修できます。本コースは東京都等が公立小学校教員を強く希望する者のなかから選考し、4年次に教育実習のほか体験活動・ゼミナール・講義などを行うものです。詳細は学科ガイダンス等で説明します。

注 「教職実践演習(小学校)」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開催されます。

社会情報学科 社会生活情報学専攻

a 高等学校教諭1種免許状「情報」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1	社会情報概論 2] 情報社会論 2) 情報倫理 2)	2
		コンピュータ・情報処理(実習を含む。)	1	情報処理実習 A 情報処理実習 B コンピュータの基礎 プログラミングの基礎 プログラミング基礎演習 ソフトウェア概論 2) アルゴリズム論及び演習 2) アルゴリズム論及び演習 2)	10
		情報システム(実習を含む。)	1	情報システム論及び実習 [2] 情報システム論及び実習 [2] 情報リテラシー演習 2)	4
		情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1	情報ネットワーク論及び実習 [2] 情報ネットワーク論及び実習 [2] 放送論 2)	4
		マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	1	オンラインデータ分析 2] メディア運用演習 2] 情報分析演習 2) メディア学基礎 2) 情報表現法 2)	4
		情報と職業	1	情報と職業 2] 社会政策・労働問題 2) 情報と法律 2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	情報科教育法 [2] 情報科教育法 [2]	4
	計		24	12単位は教科に関する専門的事項の選択科目24単位から選択	42
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 2]	2
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 2]		2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説 含学校経営 2]		2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 2] 青年心理学 2)		2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1]		1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2]		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説 1]	1	
	特別活動の指導法		特別活動要説 2]	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 2]	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談 2]	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習 2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6	
	学校体験活動		-		
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) 2]	2	
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計		59		70	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 教科及び教科の指導法に関する科目「情報」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備考
情報科教育法	2	半期	講義	3	2	
情報科教育法	2	半期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

c 教育の基礎的理解に関する科目等「情報」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備考
教育原理	2	半期	講義	2	2	
教職入門	2	半期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半期	講義	2	2	
教育心理学	2	半期	講義	2	2	
青年心理学	2	半期	講義	2	2	選択
特別支援教育要説	1	集中	講義	2	1	
教育課程論	2	半期	講義	2	2	
総合的な学習の時間要説	1	集中	講義	3	1	
特別活動要説	2	半期	講義	3	2	
教育の方法と技術	2	半期	講義	3	2	
生徒・進路指導論	2	半期	講義	3	2	
教育相談	2	半期	講義	2	2	
教育実習	2	2週間	実習	4		
教育実習	2	2週間	実習	4		選択
教育実習指導	2	半期	講義	3	2	
教育実習指導	2	半期	講義	4	2	
教職実践演習（中・高）	2	半期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」、「教育実習指導」は教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

社会情報学科 環境情報学専攻

a 高等学校教諭1種免許状「理科」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	1	物理の基礎 [2] 物理の基礎 [2] エネルギーと環境(2) 力とかたち (2)	4
		化学	1	化学の基礎 [2] 化学の基礎 [2] 環境科学(2)	4
		生物学	1	生物の基礎 [2] 生物の基礎 [2] エコロジー エコロジー (2) 生命のしくみ(2) 生命科学とくらし(2)	6
		地学	1	地学の基礎 [2] 地学の基礎 [2] 地球環境論(2)	4
		物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理基礎実験(2) 化学基礎実験(2) 生物基礎実験(2) 地学基礎実験(2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	理科教育法 [2] 理科教育法 [2] 理科教育法 [2] 理科教育法 [2]	8
				11単位は教科に関する専門的事項の選択科目22単位から選択	11
	計		24		39
	教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 [2]
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職入門 [2]		2
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育制度要説(含学校経営) [2]		2
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学 [2] 青年心理学 [2]		2
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育要説 [1]		1
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論 [2]		2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説 [1]	1
		特別活動の指導法		特別活動要説 [2]	2
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 [2]	2
		生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 [2]	2
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談 [2]	2
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習 (2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6
		学校体験活動		-	
		教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) [2]	2
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計		59		67	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 中学校教諭 1種免許状「理科」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
	科目	単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	1	物理の基礎 [2] 物理の基礎 [2] エネルギーと環境(2) 力とかたち (2)	4	
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	物理基礎実験 2]	2	
	化学	1	化学の基礎 [2] 化学の基礎 [2] 環境科学(2)	4	
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	化学基礎実験 2]	2	
	生物学	1	生物の基礎 [2] 生物の基礎 [2] エコロジー エコロジー (2) 生命のしくみ(2) 生命科学とくらし(2)	6	
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	生物基礎実験 2]	2	
	地学	1	地学の基礎 [2] 地学の基礎 [2] 地球環境論(2)	4	
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	1	地学基礎実験 2]	2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	理科教育法 [2] 理科教育法 [2] 理科教育法 [2] 理科教育法 (2)	8	
			8単位は教科に関する専門的事項の選択科目14単位から選択	8	
	計	28		42	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 2]	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 2]	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営) 2]	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 2] 青年心理学(2)	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1]	1	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2]	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育要説 2]	2	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間要説 1]	1	
	特別活動の指導法		特別活動要説 2]	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 2]	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談 2]	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習 [2] 教育実習 (2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	8	
	学校体験活動			-	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) 2]	2	
	大学が独自に設定する科目	4	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得	-	
	合計	59		74	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

c 教科及び教科の指導法に関する科目「理科」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
理 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
理 科 教 育 法	2	半 期	講義	2	2	
理 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	
理 科 教 育 法	2	半 期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

d 教育の基礎的理解に関する科目等「理科」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
道 徳 教 育 要 説	2	半 期	講義	3	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	
教 職 実 践 演 習（中・高）	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」「教育実習指導」は教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。

社会情報学科 情報デザイン専攻

a 高等学校教諭1種免許状「情報」

(2019年度入学生から適用)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設科目及び最低修得単位数		
科目		単位数	本学開設科目(単位)	最低修得単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	1	社会情報概論 2] 情報社会論 2)	2
		コンピュータ・情報処理(実習を含む。)	1	情報処理実習 A 情報処理実習 B コンピュータの基礎 プログラミングの基礎 プログラミング基礎演習 情報処理原論 ソフトウェア概論 2) アルゴリズム論及び演習 2) アルゴリズム論及び演習 2) スマートデバイス応用 2) スマートデバイス応用 2) オブジェクト指向プログラミング論及び演習 2) オブジェクト指向プログラミング論及び演習 2)	12
		情報システム(実習を含む。)	1	情報システム論及び実習 情報システム論及び実習 経営情報システム論 2) シミュレーション論 2)	4
		情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1	情報ネットワーク論及び実習 [2] 情報ネットワーク論及び実習 [2] Webプログラミング 2) Webプログラミング 2)	4
		マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。)	1	マルチメディア論及び実習 [2] マルチメディア論及び実習 [2] ニューメディア論 2) ニューメディア論 2) コンピュータ・グラフィックス 2) コンピュータ・グラフィックス 2) 画像情報処理論及び演習 2) ウェブデザイン 2)	4
		情報と職業	1	情報と職業 2] 社会政策・労働問題 2)	2
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				-
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	情報科教育法 [2] 情報科教育法 [2]	4
	計		24	10単位は教科に関する専門的事項の選択科目38単位から選択	42
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 2]	2
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門 2]		2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度要説(含学校経営) 2]		2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 2] 青年心理学 2)		2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育要説 1]		1	
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 2]		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	総合的な学習の時間要説 1]	1	
	特別活動の指導法		特別活動要説 2]	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術 2]	2	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 2]	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談 2]	2	
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 [2] 教育実習 2) 教育実習指導 [2] 教育実習指導 [2]	6	
	学校体験活動		-		
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高) 2]	2	
大学が独自に設定する科目		12	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を修得	-	
合計		59		70	

注 本学開設科目(単位)欄のうち、 の数字は卒業必修単位、[]の数字は教職課程履修者必修単位です。

b 教科及び教科の指導法に関する科目「情報」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
情報科教育法	2	半 期	講義	3	2	
情報科教育法	2	半 期	講義	3	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

c 教育の基礎的理解に関する科目等「情報」（教職課程独自の科目として開講する科目）

（2019年度入学生から適用）

授業科目名	単 位	期 間	講義・演習等の別	配当年次	時間数	備 考
教 育 原 理	2	半 期	講義	2	2	
教 職 入 門	2	半 期	講義	1	2	
教育制度要説（含学校経営）	2	半 期	講義	2	2	
教 育 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	
青 年 心 理 学	2	半 期	講義	2	2	選択
特 別 支 援 教 育 要 説	1	集 中	講義	2	1	
教 育 課 程 論	2	半 期	講義	2	2	
総合的な学習の時間要説	1	集 中	講義	3	1	
特 別 活 動 要 説	2	半 期	講義	3	2	
教 育 の 方 法 と 技 術	2	半 期	講義	3	2	
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	半 期	講義	3	2	
教 育 相 談	2	半 期	講義	2	2	
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		
教 育 実 習	2	2 週間	実習	4		選択
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	3	2	
教 育 実 習 指 導	2	半 期	講義	4	2	
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2	半 期	演習	4	2	

注 時間数は1週間の授業時間数です。

注 各科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。

注 「教育実習指導」「教育実習指導」は教育実習に係る事前及び事後の指導を含み、それぞれ3年後期、4年後期に開講されます。

注 「教職実践演習（中・高）」は、教員として必要な知識・技能を修得したことを確認するための総まとめの科目で、4年後期に開講されます。